

旧白水庁舎・総合

白水地区小学校統合及び

■一般会計予算総額 154億9764万円

■歳入歳出追加額 6636万円

【令和元年第3回定例会】

9月定例会は、9月6日から9月13日までの8日間の日程で開催された。平成30年度の決算認定が9件、条例等の改正が6件、一般会計補正予算及び特別会計補正予算が5件、その他11件の全31議案と請願、陳情各1件を審議した。一般会計決算、議案第65号の条例制定は、反対1名の賛成多数、その他の議案は、全会一致で可決された。常任委員会では、付託された決算認定や各議案について審議し、最終日に各委員長より報告があった。一般質問には4名の議員が登壇した。

【令和元年度一般会計補正予算】

主な補正は、仮設団地集約に伴い、木造仮設や集会施設「みんなの家」を移転、再建築するための設計業務委託費2000万円、旧白水庁舎解体関連工事請負費1億5000万円、防災行政無線戸別受信機購入775万円、旧立野小学校記念碑等移設工事費310万円、総合福祉センターエアコン改修工事設計委託費300万円等である。

主な補正は

旧白水庁舎解体関連工事請負費	1億5000万円
移転再建築設計業務委託費（木造仮設・集会施設）	2000万円
防災行政無線戸別受信機購入費	775万円
旧立野小学校記念碑等移設工事費	310万円
総合福祉センターエアコン改修工事設計委託費	300万円

○平成30年度一般会計決算（認定1号）

反対討論：立石議員

ダム対策費は、立野ダムを推進する為の費用であり、税金を湯水のように使い、自然を壊し、下流の住民を危険にさらす立野ダム建設は中止すべきだ。2つ目は同和行政で地域開発補助として、540万円が支出されている。このような補助金は改めるべきだと考える。社会は大きく変わっている。地域の皆さんの真剣な活動によって、生活環境の格差はなくなった。従来通りの同和行政を続ければ、いつまで経っても問題は解決しない。以上の理由で反対する。

○職員の給与等に関する条例の制定（議案65号）

反対討論：立石議員

この条例が、臨時、非正規雇用への置き換えが行われる危険性がある。また、会計年度との任用の雇い止めを自治体の判断でできることも問題である。正規雇用を原則としている公務員法を揺るがすものであり、この条例の制定には反対する。